

人権啓発フェスティバル ある精肉店のはなし

2023

映画監督講演会・映画ダイジェスト版の上映



【映画解説】

大阪府貝塚市での屠畜見学会。牛のいのちと全身全霊で向き合うある精肉店との出会いから、この映画は始まった。家族4人の息の合った。家族4人の息の合った。わさった手わざで牛が捌かれていく。

家業を継ぎ7代目となる兄弟の心にあるのは、被差別部落ゆえのいわれなき差別を受けて来た父の姿だ。

これは、代々家族で牛を育て、捌き、牛肉として販売してきたある精肉店の家族の記録。

入場無料

手話通訳
要約筆記
あり

2023年 (令和5年) 10月15日 日

12:00～15:30 講演会 13:00～15:00

講師

はなぶさ 瀬瀬 あや 映画監督

演題

いのちを食べて いのちは生きる

会場

松山市総合コミュニティセンター
(松山市湊町七丁目5番地)



「誇れる」人権尊重で笑顔に～人にやさしい、人がやさしいまち 松山～

人権啓発フェスティバル2023

キャメリアホール（講演会）

12:20～ 受付
13:00～ オープニングイベント/
伊豫之國松山水軍太鼓保存会
による演奏
主催者あいさつ/松山市長
13:30頃～ 講演会/映画「ある精肉店のはなし」
ダイジェスト版の上映
映画監督：瀨瀨あやさん講演
(15:00終了予定)



コミュニティプラザ

12:00～15:30
展示コーナー
●令和4年度人権啓発標語・
ポスター・絵手紙入賞作品
●各種人権啓発に関する
パネル展示



講師プロフィール

はなぶさ
瀨瀨 あや

東京生まれ。2010年に『祝の島（ほうりのしま）』を初監督。シチリア環境映像祭で最優秀賞受賞。二作目『ある精肉店のはなし』（2013年）は釜山国際映画祭、山形国際映画祭招待作品。ニッポンコネクション（フランクフルト）ニッポン・ヴィジョンズ観客賞、第5回辻静雄食文化賞。平成26年度文化庁映画賞文化記録映画部門大賞。現在は、日本の移り行く時代の中で消えかかっている人々の営みを映像に撮り続けている。



講演会には入場券
(無料)が必要です

※入場者1人につき1枚

申し込み締め切り

当日消印有効

令和5年9月30日 土

申込方法

専用ウェブサイト、はがき、電話、FAX、Eメール

下記の必要事項を記入

- ①氏名(ふりがな) ②郵便番号・住所 ③電話番号
④必要枚数(1人につき4枚まで) ⑤(ある場合は)講師への質問

※定員900人(先着順。定員になり次第締め切ります。)

※入場券は、10月初旬に発送します。

※FAX/Eメールで申し込む場合は、タイトルを「人権啓発フェスティバル申し込み」としてください。

※感染症などの状況により、中止や開催内容を変更する場合は、お申込みをされた方にご連絡いたします。

入場券のお申込み・お問い合わせはこちら

松山市 人権啓発課

TEL: 089-948-6380 〒790-8571
FAX: 089-934-1742 松山市二番町四丁目7番地2
Eメール: jinkenfes@city.matsuyama.ehime.jp

主催 松山市・松山市人権教育推進協議会

共催 中予地域人権啓発活動ネットワーク協議会

入場券申し込み
サイトはこちら



【個人情報管理について】

いただいた個人情報は、入場券受付のみに利用し、松山市が責任をもって管理します。